〇年口組 特別な配慮を要する児童について

支援体制	児童名		緑ファイル	サポートファイル	昨年度の支援状況
Α		ADHD()FIQ= ・服薬なし	個別の 指導計画		H . 受診(検査結果を基に面談済み) H 授業参観後に面談(情報共有) 学級内での支援
Α		集中力に欠ける,対人関係でトラブル (人に手が出ることはほとんどない)	個別の 指導計画		毎年面談を実施。H. 月にアーチル受診。H. 両親と面談。 夏休み前に本人,母親,担任,特支Coと面談(夏休みの過ごし方を決める) 対人関係でトラブルはほぼなし。学習へも前向きに取り組んでいる。
Α		学習面の遅れ、話が通らないことがある。			学級内での支援
А		ADHD(アーチル診断) コンサータ服薬(落ち着きがない 他児とのトラブル	個別の 指導計画		年次末・年次アーチル受診。その後 の受診。 月頃から集中力がなくなり落ち着かない。母親が服薬を希望。 / ~コンサータ 錠服薬開始。 →母親のメンタル心配な状況になり、SCに繋ぐ(/ , / 面談) 服薬して自制が見られるようになった。
А		学習面での遅れが見られる(FIQ=) 国語の力が低い(文章低学年レベル) 漢字は全く書けない(読書が苦手である。)	個別の 指導計画		H . 月から週一度,取り出し指導を実施。(年次) 放課後個別指導を行っている。
А		字習面に遅れ(漢字は書けるが促音等身に付かない) 自分の考えを持てず手が止まることが多い。 (友達の考えを聞いて納得すると書いている)			年次に巡回相談でみてもらった。 年次アーチル受診の方向で話が進んだが、アーチル受診なし。 促音などがまだ身に付いていない。

教職員が共有しているデータ(イメージ画像)↓

4	A	В	С	D	E	F	G	Н	I	J	K		
7.5	引紙 (○年□組 特別	な配慮を要する児童について										
支	援体制	児童名	様子	《쿠크를 Z II	11.10°. L== /	。 昨年度の支援	1#%0						
	とが数1年申り	光里石	ADHD()FIQ= ・服薬なし		サホートファイ	サポートファイル 昨年度の支援状況 日、 受診(検査結果を夢に面談済み)							
2	A		MOTOC / I IS - MIXWEST	個別の 指導計画		H 授業参額後に面談(情報共有) 学級内での支援							
3	А		集中力に欠ける,対人関係でトラブル (人)に手が出ることはほとんどない)	個別の 指導計画		毎年面談を実施。H. 月にアーチル受診。H. 両朝と面談。 夏休み前に本人、母親、担任、特支のと面談(夏休みの選ごし方を決める) 対人関係でトラブルは民ぼなし、学習へも前向きに取り組んでいる。							
	Α		学習面の遅れ,話が通らない			学級内での支援							
5	А		ADHD (アーチル診断) コンサータ服薬(落ち着きがない 他児とのトラブル	個別の 指導計画		年次末・年次アーチル受診。その後の受診。 月頃から集中力がなくなり落ち書かない。母親が服業を希望。 / ~コンサータ1 錠 服実開始。 → 母親のペンタル心配な状況になり、SOに嫌ぐ(/,/ 面談) 服業とも問対の見られるようになった。							
	А		学習面での遅れが見られる(FIQ=) 国語の力がかなり低い(文章低学年レベル) 漢字は全く身に付かない(読書×)	個別の 指導計画		H . 月から遡一度,取り出し指導を実施。(年次) 放課後個別指導を行っている。							
,	А		学習面に遅れく漢字は書けるが促音等身に付かない) 自分の考えを持てず手が止まることが多い。			年次に巡回相談でみてもらった。 年次アーチル受診の方向で語が進んだが、アーチル受診なし。 侵害などがまた第二付いていないが、募款は何とか付いてこれている。							
1													
	- ACE /-L- (L-)		147	A=		nt to stress the	AEST						
文	援体制			緑フアイル	サポートファイ	ル昨年度の支援	4X)%						